

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年10月3日

日本のロングコロナ：全国的コホート調査

下水サーベイランス：札幌 10月3日

## 【松崎雑感】

日本の医療機関に入院した新型コロナ患者のロングコロナ状況を報告したものです。入院が必要な状態となった人々の3人に1人は、1年後もさまざまな症状に悩まされていることがわかりました。社会保障的ケアを真剣に考える必要があります。

札幌の下水サーベイランスでは、高レベルだったコロナがやっと低下、しかし、インフルエンザは、昨年真冬レベルに匹敵する感染状態。要警戒。

## 日本のロングコロナ：全国的コホート調査

Terai H, Ishii M, Takemura R, et al. **Comprehensive analysis of long COVID in a Japanese nationwide prospective cohort study** [published online ahead of print, 2023 Sep 30]. *Respir Investig*. 2023;61(6):802-814. doi:10.1016/j.resinv.2023.08.008

背景：日本におけるロングコロナの疫学的特徴はまだ明らかにされていない。

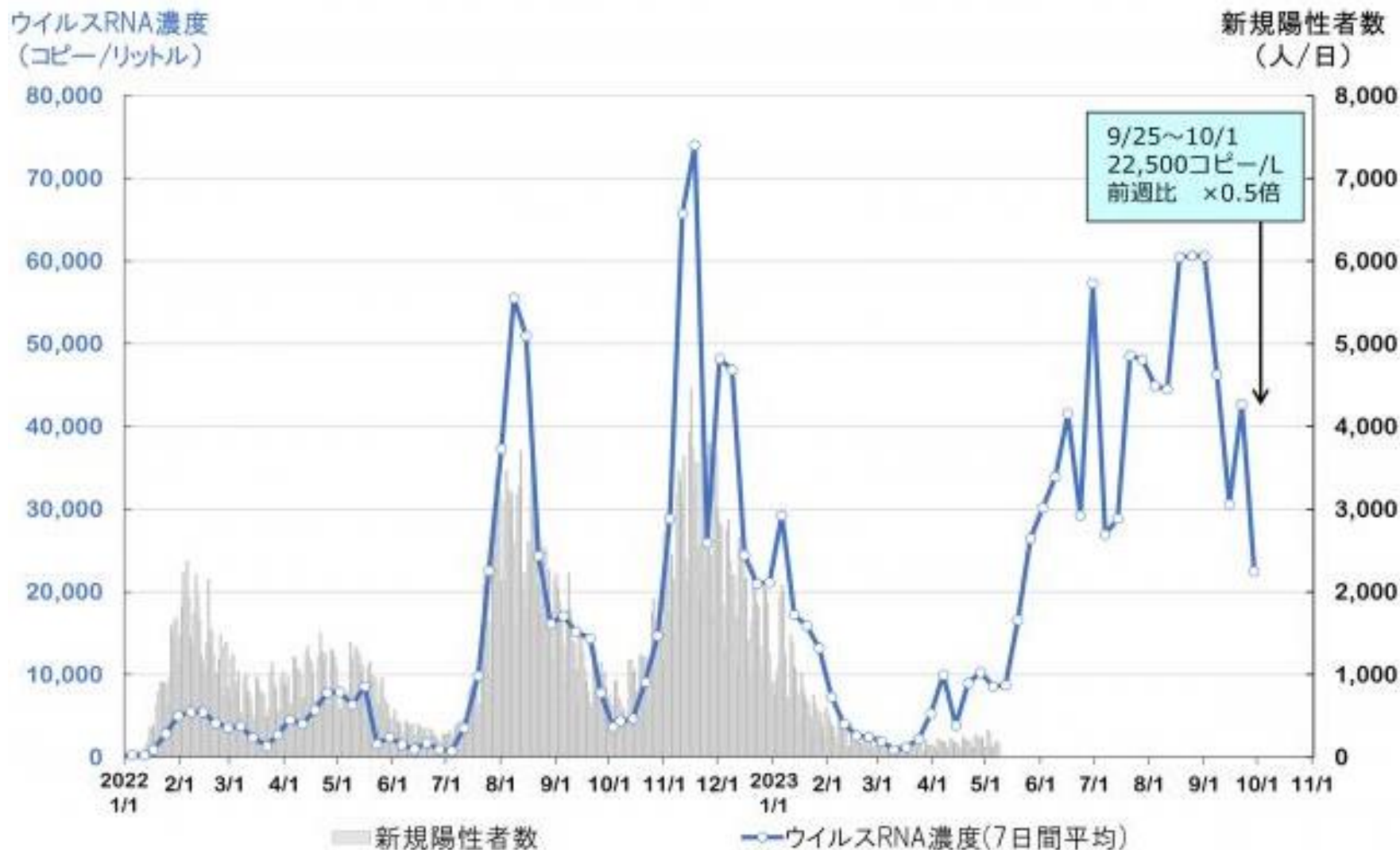
方法：18才以上の新型コロナ似て入院した患者を対象とした多施設コホート調査。1200名が参加。カルテ、質問票調査、スマホアプリを通じた情報収集を基に解析。

結果：1個以上の新型コロナ関連症状保有率は、入院中93%、3か月後46.3%、6か月後40.5%、12か月後33.0%。1個以上の新型コロナ感染症状が継続している人々は、QOLが低く、うつ状態、不安、新型コロナに対するおそれが有意に高かった。女性であること、中年（41～64才）、入院中酸素投与必要、重症化経験ありの場合ロングコロナ率が有意に高かった。

結論：日本におけるロングコロナの特徴を明らかにした。今後のロングコロナ対策に資するだろう。

コロナウイルス濃度は前週から半減しましたが高い水準を継続しており、引き続き注意が必要です。

### 下水サーベイランスの結果（新型コロナウイルス）



インフルエンザウイルス濃度はほぼ横ばいで推移しています。

### 下水サーベイランスの結果（インフルエンザウイルス）

